

第145回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成23年2月)

2011.2.24

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第145回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 23年 2月24日 (木) 11時～

2. 開催場所 岩手朝日テレビ 3階 会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 5名

委員長	増子 義孝
副委員長	村田 久
委員	笠川 さゆり
委員	弭間 俊則
委員	吉田 政司

欠席委員数 2名

委員	小田島 利昭
委員	そのだ つくし (文書頂きました)

会社側出席者名

代表取締役社長	富永 健治
専務取締役	辻 一成
取締役総務局長	小林 直紀
取締役	長生 正広
技術局長	佐々木 正樹
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作局副部長	鈴木 敦
報道制作部課長	中嶋 勝則
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	落合 成範
番組審議会事務局	佐藤 清一

#### 4. 議 題

(1) 合評番組

「ウギャルなわけ」

(2) 3月単発番組について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成23年3月24日(木) 11時～

岩手朝日テレビ 3階 会議室

合評課題： 「いわて夢家族!!パパとひろみちお兄さんの  
子育て大作戦」

放送日時： 平成23年3月7日(月) 19時00分～19時54分

#### 5. 概 要

- \* 地デジ完全移行まで150日なり、この期間に視聴できない世帯の実態把握とその世帯を減らすための各種対策の実施し円滑に完全デジタル化を達成したいと社長が発言。
- \* 落合事務局長から2月の視聴率と3月の単発番組について報告した。
- \* 以前に制作された「俺たちの盛岡冷麺」と比較して1年かけての企画、編集は、バランスの悪い内容だ。
- \* 映像の後ろのほうに関係者の喫煙風景は、あまり好感が持てない。
- \* 漁業体験を通して、地元で溶け込もうというギャルたちの一生懸命な姿勢は見られる。
- \* ウギャルたちの行動は、予めお膳立てされた中での行動であり自主性が見えない。単なるパフォーマンスである。
- \* じっくり見ると、ストーリー性もあり、一次産業とギャルのミスマッチさを上手く融合させたところに仕掛けがあると感じる。
- \* 化粧や魚をさばいてる爪を見ているだけで化粧の香り漂う感覚になる。
- \* ギャルが釜石市とテレビ局を手玉に取った感じである。
- \* 農ギャルもウギャルも前から話題になって居るのに、なぜ、今更の感がある。

## 6. 議事の内容

- 落合事務局長        それでは、只今より、第145回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。  
                              それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。
- 増子委員長            それでは富永社長、一言お願いします。
- 富永社長              本日もお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。  
                              本日は2月24日は地デジ完全移行まで5か月、ちょうど150日となりました。  
                              完全移行日の7月24日正午、12時をもちましてアナログ放送を終了し、ブルーバック等のお知らせ画面に切り替え、当日の24時をもちましてアナログを停波致します。  
                              残り5か月では、視聴できない世帯の実態把握とその世帯数を減らすための各種対策の実施、高齢者などに対する最終サポート体制の整備などを行い、円滑に完全デジタル化を達成していきます。  
                              現在岩手県の難視聴世帯数は740区、約11,600世帯です。地上デジタル難視聴対策衛星放送対象リスト(ホワイトリスト)には衛星放送を利用して東京のキー局を經由して見ていただき、また、残り8,000世帯はケーブルを使用して見ていただくというように、7月24日までは完全移行を目指しデジタル化へ致します。
- 増子委員長            ありがとうございました。  
                              何かご質問等ございませんか？  
                              難視聴地域の問題もありますが、金銭面の問題でデジタル放送を見られない世帯はどのくらいあるのでしょうか。
- 富永社長              9月の調査では、デジタル対応テレビの普及率が89.6%となり、残り10%対応しておりませんでした。エコポイントの関係で95%まで普及していると聞いております。  
                              また、岩手県の場合、まだ時間があるという感覚でデジタルテレビを購入していない世帯もあるようです。お年寄りだけの生活の方は子供に頼っている、また、操作がわからないというような感覚で購入していない方もいるようですが、完全デジタル化へ向けて100%を目標にしています。

増子委員長

ありがとうございました。ほかに何ご質問などございますか。

落合事務局長

それでは、2月の視聴率と3月の単発番組についてお話をさせていただきます。

3月の単発番組ですが、7日19時から来月の合評課題でもあります「いわて夢家族！！パパとひろみちおにいさんの子育て大作戦」を放送いたします。こちらは、IAT自社制作番組であります。3月12日には再放送を予定しております。12日、13日21時から2夜連続ドラマ「砂の器」を放送いたします。19日には、青森朝日放送制作「らびあんろーず売り出せ俺たちのB級ご当地グルメ」の放送をいたします。こちらは、今や侮れないB級グルメを選びすぎり、青森県内の町おこしと、その奮闘を追った番組です。29日には山形テレビ制作番組「あなたの笑顔がみてみたい～希少難病の子供たち～」こちらは東北各県の系列局で制作していますほっとネットとうほくの作品でございます。また、31日木曜日には、福島放送制作番組「生まれ変わる会津漆器～塗師父娘の挑戦～」を放送いたします。「ウギャルなわけ」同様、東北各県の系列局で制作した番組をぜひご覧いただければと思っております。

次に視聴率についてご説明申し上げます。全日、8.4%で第3位、ゴールデン13.2%で第3位プライムが13.3%で第3位、プライム2は8.1%で第1位でした。ゴールデンの枠は2時間および3時間のスペシャル番組の放送が多く、視聴率が良かったようです。15%以上獲得した番組が今年度は12番組であり昨年は10番組でしたのでしたのでまずまずかな。といったところです。

4月の改編時期に伴い、レギュラー番組やスペシャル番組が多くなってきています。こちらで視聴率を伸ばす材料になってくれれば良いと思っております。

また昼間の番組の再放送で「相棒第1シーズン」を放送しました。視聴率が高く根強い人気に胸をなでおろしています。

増子委員長

ありがとうございました。何かご質問ございますか。

弭間委員

ホットねっとの番組が平日と土日に分かれていますが見聴率的に休みと平日では数字が違うのではないのでしょうか。

落合事務局長

IAT自社制作番組はできるだけ土日に皆さんに見てもら

いたい思いで入れています。また編成の絡みで東北各県の系列局制作番組も土日に入れられない番組もあります。

ほっとネット東北の番組は1年に良い作品を各局55分の番組で制作していますが、制作の絡みで、どうしても年度末に集中して放送になってしまいます。

増子委員長

その他、何かご質問等ございませんか。ないようですので、合評課題に移ります。

吉田委員

以前に制作された「俺たちの盛岡冷麺」と比較して見てしまいました。1年を追いかけての企画。制作、編集はかなり難しかったのではないのでしょうか。企画から編集までの骨組みをきちんとさせていないとバランスの悪い内容になってしまい冷麺のようにはいかなかったでしょうね。

釜石のプロジェクトが二ついっぺんに重なってしまって市民対ウギャルを合わせながらうまく融合させ作り上げていくように見えていて思えませんでした。

私の妻の実家の近くが舞台でしたが、海岸の風景などが春夏秋冬のメリハリがなくて、結果的に中途半端な作りになっていたように思います。

今流行の「ママギャル」が映っていましたが、ここの部分は親近感が持てました。語り口がほのほのして見えていて安堵感がありました。

その中で一点気になったのですが、映像を撮影している中で後ろのほうに関係者の方の喫煙風景が映っていました。これは見ている側はあまり好感が持てないですね。

全体として視聴者に何を伝えたかったのか見えませんでした。見終わった後、不完全燃焼という感じに思えました。

村田副委員長

3回見てみましたが、何と言いますか、良い印象は持てませんでした。

漁業体験を通して、地元で溶けこもうというギャルたちの一生懸命な姿勢は見られましたが、今一つ彼女たちの意図するところが伝わってこなく、一貫してウギャルの行動は単なるパフォーマンスとしか映りませんでした。

というのも、若者や園児とのふれあい、地引網やバーベキューなどのイベントは全て地元の方々の協力でお膳立てされたものであり、ウギャルの自主性は見えませんでした。特に気になったのは、定置網での「ヒラマサ」漁でウギャルたちが養殖したものでもないのに、いかにも自分たちが獲ったかの

ようにセリにかけ、ご祝儀相場といい、ウギヤルシールが貼られていたことに違和感を持ちました。

また、イカが釣れない時期に漁に出て2匹釣れたと得意気にツアー客に見せていましたが、ウギヤルに翻弄されている地元漁師は気の毒です。

ナレーターの説明がいかにももっともらしいのですが、ウギヤルの行動と内容に落差があってそれが目立っていました。オーバーな表現もあり、見ている側は白けた気分になります。「ウギヤルのやっていることは遊びにしか見えない」誰かが漁師に専従するなら厳しい漁業がわかると思うのですが、地元漁師の言葉がウギヤルの全てを語っている気がしました。

トップモデルを引退しライさんという名前のギャルが漁業に興味を持ち関わっていく過程をドキュメンタリー風に仕上げた作りのほうが面白かったに違いありません。

釜石にウギヤルのプロジェクト事務所を開設し、新製品まで閲覧販売すると言っていたのですが、今後の展開がとても気になります。

#### 弭間委員

合評課題として、まったくイメージがわからずに見てみるとそういうものか。という感じで見ていました。

地域振興、産業振興と一体となったプロジェクトなのでしょうか。タイトルを何にしようか？と悩んだのではないのでしょうか。

じっくり見てみれば、ストーリー性もあるし、一次産業とギャルのミスマッチさをうまく融合させるかというところに仕掛けがあると感じました。

1時間の中で視聴者に思いを伝えられるかということ、内容的に難しさもあり、良い面としては地元の人とのコミュニケーションをとるために、単なるイベント化に風化しないように漁師さんのコメントを入れていたことです。いろいろなことを含めて、人間にクローズアップしてトライするところは必要ですし、テレビと市民の一体感が出ていたので良いと思いました。

冒頭にギャルが出ていて、そのギャルをアップで移すのは良し悪しですね。いろいろな方が見ているので、アップしすぎるのは考えたほうが良いかと思います。

笠川委員

最初、合評課題という観念を持たずに息子と見ていて、ギャルの化粧の濃さに圧倒されてしまいました。若い男子にもそう映っていたようです。まして、魚とギャルのかけ合わせに化粧の濃さは似合わないですね。

彼女たちのいるところに取材陣の多さにはびっくりしました。相当盛り上がっているんですね。

感想をどう表現していいのかわからないのですが、彼女たちの一生懸命さは見えるのですが、彼女たちの思いがテレビを見ていても伝わってこないんですね。おいしい魚の魅力や漁業の大変さがライさんのインパクトが強すぎて伝わってこないのです。

「いくら」をさばいているシーンでも、お化粧品や魚を触っている手の爪見ているだけで化粧の香りが漂ってきそうな感覚になりました。

インタビューでも一生懸命語っているのですが、耳に残らないのです。彼女たちのファッション、モデル性、TPO等があると思いますが、メイクや衣装にも個性性などと言っていますが、自分たちの主張を押し付けているように思えます。

最後まで見てみて、私が見ていた位置から角度的に仕方ないのかな。とと思っていましたが、1時間見ていて、ライさん自体の映し方を変えればもっと違った印象が持てたかもしれません。しかし印象的には彼女はケバイという印象しか残りませんでした。

増子委員長

ギャルがテレビを手玉に取った印象ですね。IATと釜石市と一緒に延々この番組を作る構成はどうなんでしょう。視聴率はどのくらいだったのでしょうか。

「ウギャルなわけ」という題名は希薄すぎます。自分たちをアピールするためだったら、魚と掛け合わせなくても良いのではないのでしょうか。番組の中で魚に救われたとギャルが言っていましたが、どうして救われたのですか？見ても全然理解できませんでした。コメントも入れていましたが意図が全くわかりませんね。釜石をPRしたかったのですが、私には全く理解できません。

「わかめ」を富山県で売り込んでいるのですか？延々とコメントしていましたが見ている私たちにはとてもしんどい時間でした。個性的と言っていますが、ギャルをやめて一生懸命取り組んでいます。というぐらいの意気込みが必要です。見ていて腹立たしいというか何を目的としている



番組だったのかわかりませんでした。前回放送した「俺たちのもりおか冷麺」に比べても、比べようがないですよ。1時間の番組ならもう少しまじめな番組に期待しています。

#### そのだつくし委員 (文書のみ)

現在、JA全国誌「地上」・家の光協会にて連載中のそのだです。

先日、東京にてJA青年部全国大会を見てきて、農業に頑張っている若者の現状を見てきました。農業も漁業も同じ「若い女の子をどうしたら引き込めるか。」そのような面ではギャルたちのプロジェクトは良いものだと思います。

華やかなギャルたちが漁業をするという話題性のプラス面と甘くないという漁師面の意見、地元の人たちの意見がきちんと本音で取り上げられていて良かったと思います。

農ギャルもウギャルも前から話題が出ているのに「なぜ今？今さら？」とも思いました。長い日数をかけて取材してまとめてドキュメント番組にするのも良いですがタイムリーでニュースコーナー等で作っても良かったのではないのでしょうか。

ライさんのコメントにテロップが欲しいと思いました。またケンちゃんのコメントが少なかったと思います。

この企画は、町おこしにもつながる大事なことであり、残念なのはなぜ地元の人たちができないのでしょうか。番組を見て元気になる若者、悔しがり行動に移す若者、そのまま流されて見る人、この番組のテーマは軽く考えてはいけないと思います。

その点では、今回70歳の父と見ましたがギャルには免疫のない70代男性でも感心しながら入り込んで見れたと思います。

ギャル向けでもなく、真面目くささもなくて見る人に偏らない感じの番組だったと思いました。

#### 佐々木報道局長

貴重なご意見をありがとうございました。

今回委員の先生から頂いたご意見は真摯に受け止めたと思います。この企画は非常に難しい企画だったと思います。意図通りには作れなかったとっております。

漁師が批判しているコメントは入れたかったと思い、各テレビ局も彼女たちを追いかけていましたので弊社として

も企画を致しました。

ライさんの日常的な生活を取材して、彼女の本当の姿やプライベートなところなども内容に盛り込めればまた違った彼女の印象もつけられたと思います。彼女のキャラクターが立っているのです、もう一ひねりの編集が足りませんでした。

今後制作するにあたり、貴重なご意見を参考とさせていただきます。

報道制作中嶋課長

毎月、毎月彼女たちを追いかけて取材、編集に難しさを感じました。

長生取締役

普通のテレビ局の女性が同じことをしていてもニュースにはならないのでしょうか。彼女たちがやっているからこそニュースになる。タレント性なのでしょうか。

小林取締役

撮影時、魚を扱うシーンでは、髪の毛を束ねるとか、爪を短くするとかその辺の配慮に欠けていました。

弭間委員

彼女たちのファン層はどのぐらいなのでしょう。

村田副委員長

ライさんはトップモデルさんのようですよ。でも、このような口に入る魚を扱う企画番組ならもう少し考えて撮影に入らないといけませんよね。いくらトップモデルでも魚は漁師にとってはとても大事なものですし、ましてや海という危険な部分もあるのですから。

笠川委員

この世代での合評課題の意見では良い意見を求めるのは難しいかもしれません。若い世代の方々の意見を聞いてみるとまた違った意見が出るかもしれませんよ。同世代の方が見れば、ギャルが魚を獲っているんだ。という関心さに興味を持ち見ている方もいるでしょうからね。

増子委員長

私たち世代には良い印象を持つことができなかつたようですね。ほかに何かご意見ございますか。

内容ですので、次回の審議会についてお願いいたします。

落合事務局長　では次回についてご説明申し上げます。  
次回は、3月24日木曜日の午前11時から弊社3階会議室  
で開催いたします。合評課題は「いわて夢家族！！パパとひ  
ろみちおにいさんの子育て大作戦」です。今回同様、貴重な  
ご意見をお待ち申し上げます。

増子委員長　それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置  
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表  
3月4日付朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。  
系列各局に議事録を送付。  
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。  
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項  
特になし
10. 配布資料
  - ◎ 3月単発番組編成予定表
  - ◎ 2月岩手地区視聴率